

令和8年度全国文化的景観地区連絡協議会福井大会

大会テーマ

文化的景観を伝えるデザイン、つなぐデザイン

令和8年10月14日(水) 11:00~17:00

会場 ハピリンホール（福井市中央1丁目2-1 ハピリン3階）

主催 全国文化的景観地区連絡協議会

協力 福井市、越前町、南越前町、福井県

開催趣旨

近年、「地域デザイン」という言葉を耳にする機会が増えています。地域デザインとは、地域が抱える課題を解決し、より豊かな暮らしを実現するためのデザインアプローチとも定義されています。それは、「モノにかたちを与える」といった狭い意味でのデザインにとどまらず、「企画する」「整理



する」「設計する」といった、より広い意味でのデザインの力を生かしながら、「課題解決のヒント」や「社会との新たな関係づくり」を探っていこうとする考え方です。

文化的景観をはじめとする文化財保護の枠組みは、本来、一定のモノやコトに価値を置き、それを形に留めて継承することを目指してきました。しかし、過疎化や少子高齢化などを背景に、文化財を継承する担い手の不足が大きな課題となる中、文化財の本質的な価値を守りながら、積極的な活用を通じて保存・継承していくことが求められるようになっていきます。

なかでも文化的景観は、地域に根付いた人々の生活や生業によって育まれ、維持されてきたものであり、こうした課題と向き合う最前線にあるといってもよいでしょう。だからこそ今、文化的景観には、デザインが持つ「伝える力」と「つなぐ力」が求められています。

本大会を通じて、文化的景観をフィールドとしたさまざまなデザインの実践例に触れ、その背景にある考え方や手法を学ぶことで、文化的景観を未来へとつなぐ新たな取り組みが生まれていくことを期待しています。

※どなたでも無料で聴講できますのでご興味ある方は奮ってご参加下さい。

参加ご希望の方は、右記の [QRコード](#) から参加登録をお願いします⇒



◆プログラム◆

- 10 : 30 受付開始
- 11 : 00～11 : 10 開会行事、趣旨説明
- 11 : 15～12 : 30 【基調講演】
 「営みとデザインから風景を想像する」
 講師 [原田 祐馬](#) 氏 (デザイナー、UMA/design farm 代表)
- 12 : 30～13 : 30 － 休 憩 －
- 13 : 30～14 : 00 【事例発表 1】 [ノカテ](#) (福井県福井市)
 ノカテ代表 高橋 要 氏
- 14 : 00～14 : 30 【事例発表 2】 [うらのこうの](#) (福井県南越前町)
 うらのこうの代表 田上 夏伊 氏
- 14 : 30～15 : 00 【事例発表 3】 [四万十川大人塾](#) (高知県四万十市)
 公益財団法人四万十川財団
 羽方 優紀 氏・中平 光高 氏
- 15 : 00～15 : 30 【事例発表 4】 [ド・ロさまと歩くミュージアム](#) (長崎県長崎市)
 一般社団法人 ISHIZUE 理事 西村 祐人氏
- 15 : 30～15 : 45 － 休 憩 －
- 15 : 45～17 : 00 【ディスカッション】
 「文化的景観を伝える、つなぐデザイン」
 パネリスト ノカテ代表 高橋 要 氏
 うらのこうの代表 田上 夏伊 氏
 四万十川財団事務局長 神田 修 氏
 ISHIDUE 理事 西村 祐人 氏
 モデレーター 奈良文化財研究所景観研究室長 恵谷 浩子 氏
- 17 : 00 閉会行事

お問い合わせ先

全国文化的景観地区連絡協議会福井大会事務局 (福井市立郷土歴史博物館)

担当：藤川、毛利

電話：0776-21-0489